

「大城小学校の昔ながらの米づくり伝承活動の取組」

1 学校名

和泊町立大城小学校

2 学年・人数

小学1年生から6年生（計48名）

3 日時・場所

（1）活動の日時（場所）

平成30年1月中旬	種まき・育苗（大城小学校郷土資料室）
2月下旬	代かき（大城小学校学校田）
3月7日	田植え（同上）
6月22日	稲刈り（同上）
7月11日	脱穀（大城小学校校庭ガジュマル下）
10月下旬	精米（餅つき用）
11月1日	餅つき（大城小学校中庭）
11月下旬	精米（創立記念日販売用）

（2）発表の日時・場所

平成30年12月1日 創立記念日学習発表会で発表（大城小体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

（1）名称

大城小学校の昔ながらの米づくり

（おおじろしょうがっこうのむかしながらのこめづくり）

（2）由来

校歌に「美田（うましだ）下に見下ろして」とあるように、かつて米作りが盛んだった大城小学校区。減反政策により沖永良部から田んぼが姿を消す中、子どもたちに昔の米づくりを経験させたいとの地域・教員の願いから、昭和60年に学校横に田んぼを復活させ、以来毎年米づくりを行っている。

5 保存会や地域との連携の具体

活動は大城小PTAを中心に、PTAのOBで組織する準会員の方々の協力を得ながら進めている。かつて米栽培を行っていた方に指導していただいた種籾の保存・選別法，育苗法を継承し，代かき，田植え，稲刈り時も指導，協力をいただいている。また，餅つきの時には，餅を丸める際の手伝いや，子どもたちの指導もしていただいた。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

5・6年生を中心に米づくりを総合的な学習の時間の単元に位置付け，体

験的学習を展開し、学習発表会の際に発表している。また、学校のキャッチフレーズ「祖先の知恵を受け継ぐ大城小」の具現化を期して、餅つき大会には地域の長寿会の方々を招待し、つきたての餅を振る舞っている。12月1日の開校記念日には、お米の販売も行い、好評を得ている。

7 取組の様子



〔大城小学校田での田植え〕



〔大城小学校田での稲刈り〕



〔餅つき大会〕



〔学習発表会での5年生の発表〕

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

〔児童〕

田んぼの草取りが大変だったけど、たくさんお米ができたのでよかった。沖永良部で米を作っているところはほとんどないので、手作業ですることが多かった。昔の人の苦勞がよく分かった。これからは米を残さないように食べるようにしたい。あと、今年は120周年だったので、たくさんの地域の方々に買っていただき、喜んでもらえたのでよかった。

〔PTA〕

「大城小の校歌にある昔ながらの米づくりを子どもたちに体験させよう」との先輩方の思いを引き継ぎ、本年度も米づくりに取り組んだ。PTA会員数も減少しているが、先輩方のアドバイスや協力もあり、収穫・餅つきまで子どもたちとともに活動することができた。郷土の特色ある貴重な活動として、今後も学校とともに続けていきたい。

〔教員〕

昔ながらの米づくり体験を通じて、郷土の先人の知恵や苦勞を学ぶ貴重な機会となっている。米作りが地域と学校を結ぶ一つのツールになっていると思う。今後も、米づくり体験等の「祖先の知恵を受け継ぐ大城小」を推進し、地域の方々から引き継いだ伝統をこれからも大切にしていきたい。